歯科医学各論

各論 I 歯科疾患の予防・管理〔約6%〕

	大項目		中項目	小項	目	
1	齲蝕の予防・管理	ア	齲蝕の病因			
		1	齲蝕リスク検査・評価			
		ウ	初期齲蝕の診断			
		エ	ライフステージと齲蝕			第一次・第二次・第
						三次予防を含む
		オ	齲蝕の予防手段			
		カ	齲蝕の予防効果の評価			
		+	フッ化物の応用法			
		ク	根面齲蝕の予防			
2	歯周病の予防・管理	ア	歯周病の病因			
	M.4411.5 1.154 1.47	1	歯周病のリスクファクター・診断			
		ウ	ライフステージと歯周病			第一次・第二次・第
						三次予防を含む
		工	歯周病と生活習慣病のリスク			誤嚥性肺炎など関連 するリスクを含む
		オ	歯周病の予防手段			
		力	歯周病の予防効果の評価			
3	不正咬合の予防・管理	ア	不正咬合発生・進行の要因			
		1	不正咬合発生の予防			
		ウ	不正咬合進行の抑制			
4	口臭の予防・管理	ア	口臭の原因			
		1	口臭の診断			
		ウ	口臭の予防・治療			
5	その他の疾患の予防・	ア	歯の損耗〈Tooth Wear〉			
	管理					蝕症、アブフラクシ
	-					ョン、くさび状欠損
		1	歯・歯肉の着色・変色			· · · · · ·
		ウ	歯・口腔の外傷			
		エ	唾液腺疾患、口腔乾燥症			
		7	顎関節疾患			
		カ	. I SV what			
		+	口腔粘膜疾患、口腔癌			
		7	スポーツによる歯・口腔の外傷予			 マウスガードを含む
			防			
6	保健指導	ア	口腔清掃の意義			
	71.00111	1	口腔清掃法			
		ウ	口腔清掃指導			
		エ	at the state that the			
		オ				
		カ	ライフステージと口腔機能育成・			
			増進指導			
7	食育と食の支援	ア	食生活と健康課題			
		イ	食事摂取基準と食事バランスガイド			
		ウ	間食指導			
		エ	ライフステージと食の支援			

各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態〔約19%〕

大 項 目	中項目	小項目	備考
1 歯・口腔・顎・顔面の	アロ唇・口蓋裂		
発育を障害する先天異	イ 顔面裂		
常	ウ 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異		
	骨症>		
	工 骨形成不全症		
	オ Treacher Collins症候群〈下顎顔		
	面異骨症>		
	カ Crouzon症候群〈頭蓋顔面異骨症〉		
	キ Apert症候群〈尖頭合指症〉		
	ク 軟骨無形成症		
	ケ 第一第二鰓弓症候群		Goldenhar症候群を 含む
	コ Marfan症候群		
	サ Russell-Silver症候群		
	シ Turner症候群		
	ス Beckwith-Wiedemann症候群〈EMG症		
	候群>		
	セ Robinシークエンス〈Pierre Robin		
	症候群>		
	ソ エナメル質形成不全{症}		Turnerの歯、エナメ ル質減形成症
	タ 象牙質形成不全症		
	チ 象牙質異形成症		
	ツ 先天性表皮水疱症		
	テ 先天性外胚葉形成不全〈先天性外		
	胚葉異形成症>		
	ト 先天性色素失調症		
	ナ 低フォスファターゼ症		
	ニ Papillon-Lefèvre症候群		
	ヌ 先天性好中球機能不全症		
	ネ Down症候群<21トリソミー症候群、		
	21トリソミー>		
	ノ Klinefelter症候群		
	ハ 18トリソミー症候群〈Edwards症候		
	群〉		
	ヒ 猫鳴き症候群〈5p—症候群〉		
	フ その他の先天異常・遺伝性疾患		
2 顎口腔領域の発育異常	ア 下顎頭欠損		
	イ 関節突起発育不全 		
	ウ 下顎頭肥大		
- 15 17 16	工 顎関節疾患		
3 歯の異常	ア過剰歯		正中歯
	イ 歯の先天欠如		部分性無歯症、全部性無歯症
	ウ 癒合歯、癒着歯、双生歯		

大 項 目	中項目	小項目	備考
	エ 異常咬頭・結節		中心結節、第六咬頭、
			第七咬頭、切歯結節、
			カラベリー結節、プ
			ロトスタイリッド
	オー歯内歯		
	カー矮小歯		円錐歯
	キ 巨大歯		
	ク タウロドント		
	ケ 歯根の異常		
	コ 異所性エナメル質		エナメル滴、エナメ ル突起
	サ 歯のフッ素症		
	シ エナメル質形成不全{症}		Turnerの歯、エナメ ル質減形成症
4 歯・口腔・顎疾患	ア 歯牙腫		
	イ 歯の異所萌出		
	ウ 埋伏歯		
	工 低位乳歯		
	才 早期萌出乳歯		先天歯、新生児歯
	カ 歯の萌出遅延		
	キ 口唇炎		
	ク 口角びらん		
	ケロ唇ヘルペス		
	コ 先天性下唇瘻・口角瘻		
	サー萌出嚢胞		
	シ 上皮真珠		
	ス 舌の異常		巨舌症、小舌症、地 図状舌
	セ Riga-Fede病		
	ソ Bednarアフタ		
	タ 疱疹性歯肉口内炎		
	チ 手足口病		
	ツ ヘルパンギーナ		
	テ Koplik斑		
	ト 上唇・舌小帯異常		
	ナー粘液嚢胞		粘液瘤、ガマ腫、
			Blandin-Nuhn{腺}囊 胞囊<前舌腺囊胞>
5 歯の外傷	ア 歯の外傷の状況と影響		
	イ 診察と診断、治療方針		
	ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と		
	経過		
	エ 小児の歯の外傷の予防		
6 歯列・咬合異常の予防	ア 歯列・咬合異常の要因		
	イ 咬合誘導の考え方		
	ウ 保隙		

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	工 動的咬合誘導		
	オ 口腔習癖とその対応		

●不正咬合

	大 項 目	中 項 目	小項	 備	考
7	不正咬合の病因・病態	ア 正常咬合の概念と成立の条件	, ,	MIT	
	1 > 1 - >	イ 不正咬合の種類			
		ウ 不正咬合の分類			
		エ 不正咬合の原因			
		オ 不正咬合による障害			
8	 不正咬合の診断	ア診察			
		イ検査			
		ウ診断		抜歯・非拔	歯の判定
				を含む	
		エー治療計画			
9	矯正力と固定	ア 狭義の矯正力			
		イ 顎整形力			
		ウ 生体反応			
		工 固定			
10	矯正装置	ア 咬合斜面板			
		イ 咬合挙上板			
		ウ アクチバトール			
		エ バイオネーター			
		才 Fränkel装置			
		カ リップバンパー			
		キ ヘッドギア〈上顎顎外固定装置〉			
		ク チンキャップ〈オトガイ帽装置〉			
		ケー上顎前方牽引装置			
		コ スライディングプレート			
		サ マルチブラケット装置			
		シーリンガルアーチ〈舌側弧線装置〉			
		ス 急速拡大装置			
		セ クワドヘリックス装置			
		ソータングクリブ			
		タ Nanceのホールディングアーチ			
		チ トランスパラタルアーチ			
		ツ セクショナルアーチ			
		テ Hawleyタイプリテーナー			
		ト Beggタイプリテーナー<ラップア			
		ラウンドリテーナー、サーカムフ			
		ェレンシャルタイプリテーナー〉			
		ナトゥースポジショナー			
		二 犬歯間保定装置			
11	不正咬合の治療	ア 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合			
		の治療			

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備考
	イ 永久歯列期の不正咬合の治療		
	ウ 先天性疾患を伴う不正咬合の治療		
	エ 顎変形症の治療		
	オ 補綴・歯周治療との併用		
	カ 治療中の管理		
	キ 保定		
	ク 偶発症		

各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患〔約23%〕

●歯の硬組織疾患

大 項 目	中項目	小項目	備考
1 小児の歯の硬組織疾患	ア 乳歯齲蝕		
	イ 幼若永久歯齲蝕		
	ウ 齲蝕のリスクファクター		
	工 非齲蝕性硬組織疾患		
2 成人の歯の硬組織疾患	ア齲蝕		
	イ 齲蝕のリスクファクター		
	ウ 歯の損耗〈Tooth Wear〉		咬耗症、摩耗症、酸
			蝕症、アブフラクシ
			ョン、くさび状欠損
	エ 形成異常		
	オ 歯の変色・着色		
	カー歯の亀裂・破折、脱臼		
3 歯の硬組織疾患の治療	ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法		
	イ 永久歯の直接修復法		
	ウ 永久歯の間接修復法		
	工 窩洞形成法		
	オ 象牙質・歯髄保護法		
	カー補修修復		
	キ 歯の漂白		
	ク 身体的・社会的・心理的要因と保		
	存修復		

●歯髄・根尖性歯周組織疾患

	●						
	大 項 目	中項目	小 項 目	備考			
4	小児の歯髄・根尖性歯	ア 乳歯の歯髄疾患					
	周組織疾患	イ 乳歯の根尖性歯周組織疾患					
		ウ 幼若永久歯の歯髄疾患					
		エ 幼若永久歯の根尖性歯周組織疾患					
5	成人の歯髄・根尖性歯	ア 象牙質知覚過敏症					
	周組織疾患	イ 歯髄疾患					
		ウ 根尖性歯周組織疾患					
		工 歯内-歯周疾患					
		オ 歯の外傷					
		力 内部吸収、歯根外部吸収					
		キ 根尖性歯周組織疾患が全身に及ぼ					
		す影響					
6	歯髄・根尖性歯周組織	ア 象牙質知覚過敏症の治療					
	疾患の治療	イ 歯髄保存療法					
		ウ 歯髄除去療法					
		エ 根尖性歯周組織疾患の治療					
		才 根管処置、感染根管治療法					
		カー根管充塡					
		キ 根未完成歯の治療					
		ク 再根管治療					

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	ケ 歯内-歯周疾患の治療		
	コ 外傷歯の治療		
	サ 内部吸収歯・歯根外部吸収歯の治		
	療		
	シ 外科的歯内療法		
	ス 顕微鏡を用いた歯内療法		
	セ 歯髄・根管処置における偶発症と		
	安全対策		
	ソ 根管処置後の歯冠修復		
	タ 全身疾患を有する者の歯内療法		

●歯周病

	●图均纳						
	大 項 目	中項目	小	項	目	備	考
7	小児の歯周病	ア 歯周病の特徴					
		イ 歯周病への対応					
8	成人の歯周病	ア 歯肉病変					
		イ 歯肉病変の病原因子					
		ウ 歯周炎					
		エ 歯周炎のリスクファクター					
		才 壊死性歯周疾患					
		カー咬合性外傷					
		キ 歯周組織の膿瘍					
		ク 歯肉退縮					
		ケ 歯周-歯内病変					
		コ 歯周病と健康の関わり					
9	歯周病の治療	ア 急性症状を有する歯周病への対応					
		イ 歯周基本治療					
		ウ 咬合性外傷に対する治療					
		工 歯周外科治療				組織付着療療法、歯馬 療法、歯馬 を含む	
		オ 歯周組織再生治療				2 1 3	
		カ根分岐部病変の治療					
		キロ腔機能回復治療					
		ク 歯周病の抗菌療法					
		ケ メインテナンス、SPT\supportive					
		periodontal therapy>					
		コ 全身疾患を有する者の歯周病治療					

各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患〔約23%〕

●主として軟組織に関連する疾患の病態と治療

	大 項 目		土として駅組織に関連する疾患の別 中 項 目		項	目	備	考
1	先天異常と変形を主徴	ア	口唇・口蓋裂	*			7113	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	とする疾患	1	先天性鼻咽腔閉鎖不全					
		ウ	顔面裂					
		エ	口唇・頰部の異常					
		オ	舌・口底の異常					
		カ	歯肉・口蓋の異常					
		+	小帯の異常					
		ク	先天異常と変形に対する治療				言語治療を	
2	 軟組織の損傷	ア	口腔軟組織の損傷					
		1	顔面軟組織の損傷					
		ウ	損傷に対する治療					
3	軟組織の炎症	ア	歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉					
		1	口腔軟組織の炎症					
		ウ	蜂窩織炎					
		エ	所属リンパ節の炎症					
		オ	歯性扁桃周囲炎					
		カ	歯性上顎洞炎					
		+	歯性全身感染症				菌血症、則	女血症、歯
							性病巣感染	
							 炎症(性)反	反応症候群
							<sirs></sirs>	
		ク	肉芽腫性炎				放線菌症、	口腔結核、
							口腔梅毒	
		ケ	炎症に対する治療					
4	軟組織に発生する嚢胞	ア	萌出囊胞					
		1	歯肉囊胞					
		ウ	粘液囊胞					
		エ	類皮囊胞、類表皮囊胞					
		オ	鼻歯槽囊胞					
		カ	鰓嚢胞<側頸嚢胞、リンパ上皮性嚢					
			胞>					
		キ	甲状舌管囊胞					
		ク	嚢胞に対する治療					
5	軟組織に発生する腫瘍	ア	歯原性良性腫瘍					
	および腫瘍類似疾患	1	非歯原性良性腫瘍					
		ウ	口唇癌					
		工	舌癌					
		オ	頰粘膜癌					
		カ	口蓋癌					
		キ	上顎・下顎歯肉癌					
		ク	口底癌					
		ケ	上顎洞癌					
		コ	軟組織の肉腫					
		サ	白血病					

大 項 目	中項目	小項目	備考
八点口	シ悪性リンパ腫	77 - 12 - 1	m
	ス悪性黒色腫		
	セ 前癌病変、前癌状態		
	ソ 腫瘍類似疾患		エプーリス、義歯性 線維腫、フェニトイ ン・シクロスポリン 歯肉増殖症など
	タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	a 外科療法	再建術、頸部郭清術 を含む
		b 化学療法	
		c 放射線療法	
		d 免疫療法	
	チがん治療患者の管理	a がんの告知	
		b 治療時の患者	
		管理	
		c 社会復帰	
		d 末期癌患者の 管理	
		e 口腔衛生管	
		理、口腔ケア	
		f 緩和医療	
6 口腔粘膜疾患	ア 単純疱疹〈疱疹性口内炎〉		
	イ 帯状疱疹		
	ウ ヘルパンギーナ		
	工手足口病		
	才 天疱瘡		
	力 類天疱瘡		
	キ表皮水疱症		
	ク 多形 {滲出性} 紅斑		
	ケ粘膜・皮膚・眼症候群		
	〈Stevens-Johnson症候群〉		
	コ 中毒性表皮壊死剥離症〈TEN〉		
	サ 全身性エリテマトーデス〈SLE〉		
	シ慢性再発性アフタ		
	ス Behçet病		
	セ 壊死性潰瘍性歯肉口内炎		
	ソ 壊疽性口内炎		
	夕 薬物性口内炎		
	チロ腔扁平苔癬		
	ツ 口腔カンジダ症〈鵞口瘡〉		
	テークを		
	ト 紅板症		
	ナメラニン色素沈着症		
	ニ 外因性色素沈着		
	ヌ 色素性母斑		
	ネ Peutz-Jeghers症候群		

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	ノ Addison病		
	ハ von Recklinghausen病<神経線維		
	腫症>		
	ヒ McCune-Albright症候群<多骨性線		
	維性骨異形成症〉		
	フ 口角びらん		
	へ 口腔乾燥症		
	赤 鉄欠乏性貧血		
	マ Hunter舌炎		
	ミ 溝{状}舌		
	ム 黒毛舌		
	メー化膿性舌炎		
	モ 地図状舌		
	ヤ 正中菱形舌炎		
	ユ 肉芽腫性口唇炎、		
	Melkersson-Rosenthal症候群		
	ヨ 接触性口唇炎		
	ラ 口角炎		
	リ 口腔粘膜疾患に対する治療		

●主として硬組織に関連する疾患の病態と治療

	大 項 目		中項目		小 項 目	備	考
7	顎顔面の変形を来す疾	ア	顎変形症				
	患·病態	1	骨増生				
		ウ	下顎頭欠損				
		エ	顎顔面に異常を来す骨系統疾患・				
			症候群				
		オ	顎顔面骨の変形に対する治療	a	顎矯正手術		
				b	補綴前外科手		
					術		
				С	顎骨形成術		
				d	骨移植術<骨		
					増量術〉		
				е	骨延長術		
				f	上顎洞底拳上		
					術		
				g	下顎頭形成術		
8	歯・歯槽骨・顎骨・顔	ア	歯の亀裂・破折・脱臼				
	面骨の損傷	1	骨折の様態				
		ウ	歯槽骨骨折				
		エ	下顎骨骨折				
		オ	関節突起骨折				
		カ	上顎骨骨折				
		キ	頰骨・頰骨弓骨折				
		ク	鼻骨骨折				
		ケ	眼窩壁吹き抜け骨折				

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	コロ腔上顎洞瘻		
	サ 損傷に対する治療		
9 歯槽骨・顎骨の炎症	ア 歯槽骨炎		
	イ 顎骨炎		
	ウ 顎骨骨膜炎		
	エ 顎骨周囲炎		
	オ 顎骨骨髄炎		
	カ 歯性上顎洞炎		
	キ 放射線性骨壊死		
	ク 薬剤関連顎骨疾患		薬剤関連顎骨壊死・
			壊疽・顎骨骨髄炎
	ケー外歯瘻、内歯瘻		
	コ 顎骨周囲軟組織の炎症		
	サ 炎症に対する治療		
10 顎骨に発生する嚢胞性	ア 歯根嚢胞		
疾患	イ 歯周嚢胞		
	ウ 含歯性嚢胞<濾胞性歯嚢胞>		
	エの原始性嚢胞		
	オー腺性歯原性嚢胞		
	カ 鼻口蓋管嚢胞<切歯管嚢胞>		
	キー術後性上顎嚢胞		
	クー単純性骨嚢胞		
	ケ脈瘤性骨嚢胞		
	コー静止性骨空洞		
	サ 嚢胞に対する治療		
11 顎骨に発生する腫瘍お	ア 歯原性良性腫瘍		
よび腫瘍類似疾患	イ 歯原性悪性腫瘍		
	ウ 非歯原性良性腫瘍		
	工非歯原性悪性腫瘍		
	才骨関連病変		
	力 骨増生<骨隆起>		
	キ線維骨性病変		
	ク 巨細胞性病変		
	ケ Langerhans細胞性組織球症	曜日 呼ぶる	
	コ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾	a 顎骨腫瘍の外 科療法	
	患に対する治療		
		b 顎骨の再建 c 顎顔面補綴	
		d 顎顔面インプ ラント治療	
		ノイト何烷	

●主として機能に関連する疾患の病態と治療

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
12 唾液腺疾患	ア 発育異常		
	イ 異所性唾液腺		

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	ウ 唾液瘻		
	エ 口腔乾燥症		放射線障害を含む
	才 流涎症		
	カ・唾液管炎		
	キ 唾液腺炎		
	ク ウイルス性唾液腺炎		
	ケ 免疫異常による唾液腺炎		
	コ Sjögren症候群		
	サ Frey症候群		
	シ 唾石症		
	ス 外来異物		
	セ 粘液嚢胞		粘液瘤、ガマ腫、 Blandin-Nuhn {腺}囊 胞<前舌腺囊胞>
	ソーリンパ上皮性嚢胞		
	タ 良性腫瘍		
	チの悪性腫瘍		
	ツ 腫瘍類似疾患		
	テ 唾液腺疾患の治療		
13 神経疾患	ア 三叉神経痛		
	イ 舌咽神経痛		
	ウ 非定型顔面痛、非歯原性歯痛		
	工 複合性局所疼痛症候群 <complex< td=""><td></td><td></td></complex<>		
	regional pain syndrome>		
	才 舌痛症		
	力 癌性疼痛		
	キ 舌神経麻痺		
	ク 顔面神経麻痺		
	ケ・軟口蓋麻痺		
	コ Ramsay Hunt症候群〈Hunt症候群〉		
	サ 顔面けいれん		
	シ 三叉神経麻痺		
	ス 舌下神経麻痺		
	セ 神経疾患の治療		
	ア 下顎頭欠損		
	イ 下顎頭肥大		
	ウ 関節突起発育不全		
	工 関節突起骨折		
	才 顎関節脱臼		
	力 非感染性顎関節炎		外傷性{顎}関節炎を 含む
	キ 感染性顎関節炎		
	ク リウマチ性顎関節炎		
	ケ 痛風性顎関節炎		
	コ 顎関節強直症		

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	サ 顎関節症		変形性{顎}関節症を
			含む
	シ 顎関節に発生する腫瘍および腫瘍		骨軟骨腫症、滑膜骨
	類似疾患		軟骨腫症を含む
	ス 顎関節疾患の治療		

●主として全身に関連する疾患の病態と治療

大 項 目	●主として全身に関連する疾患の病態と治療 中項目 小	
15 口腔・顎顔面に異常を	ア 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異	THE
来す骨系統疾患・症候	骨症〉	
群	イ 大理石骨病	
	ウ McCune-Albright症候群〈多骨性線	
	維性骨異形成症〉	
	工 骨形成不全症	
	才 Treacher Collins症候群〈下顎顔	
	面異骨症〉	
	カ Crouzon症候群〈頭蓋顔面異骨症〉	
	キ 第一第二鰓弓症候群	Goldenhar症候群を
		含む
	ク 口腔・顔面・指趾症候群 <ofd症候< td=""><td></td></ofd症候<>	
	群〉	
	ケ Apert症候群〈尖頭合指症〉	
	コ Marfan症候群	
	サ 基底細胞母斑症候群	
	シ Peutz-Jeghers症候群	
	ス Gardner症候群	
	セ Robinシークエンス〈Pierre Robin	
	症候群〉	
	ソ Papillon-Lefèvre症候群	
	タ von Recklinghausen病〈神経線維	
	腫症〉	
	チ Sturge-Weber症候群	
	ツ Ramsay Hunt症候群〈Hunt症候群〉	
	テ Beckwith-Wiedemann症候群〈EMG症	
	侯群〉	
	ト Melkersson-Rosenthal症候群	
	ナ 18トリソミー症候群〈Edwards症候	
	群〉	
	Down症候群〈21トリソミー症候群、21トリソミー〉	
	ヌ その他の口腔・顎顔面に異常を来	
	す症候群	
 16 口腔症状を呈する疾患	アウイルス感染症	 ヒト免疫不全ウイル
- 日本地がで生りる外心	, III. A. VELAKAL	ス〈HIV〉感染症、ウイ
		ルス性肝炎、風疹、
		麻疹、水痘・帯状疱

大 項 目	中 項 目	小項目	備考
			疹、手足口病
	イ 細菌感染症		梅毒、破傷風、結核
	ウ 免疫異常	a アレルギー疾	金属アレルギー、ア
		患	レルギー性紫斑病、
			Quincke浮腫
		b 免疫不全	後天性免疫不全症候
		 c 自己免疫疾患	群〈AIDS〉 天疱瘡、類天疱瘡、
		c 目己免疫疾患	関節リウマチ、全身
			性エリテマトーデス
			〈SLE〉、円板状エリテ
			マトーデス〈DLE〉、特
			発性血小板減少性紫
			斑病〈ITP〉、悪性貧血
		d 移植片対宿主	
		病〈GVHD〉	
	工 内分泌障害、代謝障害		下垂体性巨人症、下
			垂体性小人症、甲状腺機能亢進症、甲状
			腺機能低下症、副甲
			Cushing病、アルドス
			テロン症、Addison
			病、糖尿病、アミロ
			イドーシス、鉄欠乏
	N. M. M. M. M. M.		性貧血
	才 栄養障害		くる病、悪性貧血、
	力 血液疾患 出血새妻田	。去血球交应用	壊血病
	力 血液疾患、出血性素因	a 赤血球系疾患 b 白血球系疾患	貧血、赤血球増多症 白血病、無顆粒球症、
		0 口皿材料洗芯	悪性リンパ腫、多発
			性骨髄腫
		c 出血性素因	Osler病、アレルギー
			性紫斑病、特発性血
			小板減少性紫斑病
			〈ITP〉、血小板無力
			症、血友病A・B、von
			Willebrand病、播種
			性血管内凝固症候群 〈DIC〉
	キ 血液疾患・出血性素因に対する観	+	VDIO/
	血的治療		
	ク 口腔領域に関連して現れる心因性		気分(感情)障害、不
	病態		安障害、解離性障害、
			身体表現性障害、心
			身症

	大 項 目	中項目	小項目	備考
		ケ薬物の副作用		薬疹、口腔乾燥症
		コ 口腔症状に対する治療		
17	全身管理に留意すべき	ア 呼吸器疾患		
	全身疾患・状態	イ 心臓・脈管疾患		
		ウ 消化器疾患		
		エ 泌尿器・生殖器疾患		
		オ 神経・運動器疾患		
		カ 精神・心身医学的疾患		
		キ 血液・造血器疾患		
		ク 内分泌疾患		
		ケー代謝性疾患		
		コー免疫疾患		
		サー乳幼児		
		シー小児		
		スー高齢者		
		セ 妊娠		
18	歯科における全身的偶	ア 血管迷走神経反射		
	発症	イ 過換気症候群		
		ウー局所麻酔薬中毒		
		エ アナフィラキシーショック		
		オ 血管収縮薬による反応		
		カ メトヘモグロビン血症		
		キ 誤飲と誤嚥		
		ク 全身疾患の増悪		
19	歯科治療時の患者管理	ア 麻酔管理		
		イが新管理		
		ウ 術中管理		
		エの術後管理		

大 項 目	中項目	小項目	備考
1 病態	アー咬合・咀嚼障害		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	イ摂食・嚥下障害		
	ウ発語・構音障害		
	工審美障害		
	オー社会・心理的障害		
	カ 顎関節症・口腔顔面痛		
	キ ブラキシズム		
	ク 睡眠時無呼吸症候群		
2 診察・検査・診断・前			
2 診察・検査・診例・削 処置			一
光道 	イ 検査		咬合・顎機能の診察
			と検査、使用中の義
			歯の診察と検査、研
			究用模型による検査
			等を含む
	ウ診断		Weth o Hills A.
	エ治療計画の立案		治療法の選択を含む
	オー患者指導		
	カー前処置		
3 補綴装置の要件	ア生物学的要件		
	イ 機能的要件		
	ウ 形態的要件		
	エー力学的要件		
	オ 咬合力の支持様式		
	カー咬合様式		
	キ 審美的要件		
	ク 材料的要件		
	ケ 社会・心理的要件		
	コ 栄養的要件		
4 クラウンブリッジによ	ア 歯冠補綴装置の選択		
る治療	イ ブリッジの設計		
	ウ 支台歯形成		
	工 支台築造		
	オ プロビジョナルレストレーション		
	カ 印象採得		
	キ 作業模型の製作		
	ク 顎間関係の記録		
	ケー咬合器装着・調節		
	コ ワックスパターン形成		
	サ 埋没		
	シ 鋳造、ろう付け、熱処理、研磨		
	スロ腔内試適		
	セ装着		
	ソ 患者指導		
 5 部分床義歯による治療			義歯の構成要素を含
	/ 4次四×2HV11		
o 部分休義圏による治療	ノ 義圏の設計		表歯の構成要素を

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	イ 印象採得		
	ウ 作業模型の製作		
	エ 顎間関係の記録		
	オ 咬合器装着・調節		
	カ サベイング		
	キ フレームワークの製作		
	ク 人工歯の選択・排列・削合		
	ケ 歯肉形成		
	コ 蠟義歯の試適		
	サ 埋没、重合		
	シ 咬合調整(削合)と仕上げ		
	ス装着		
	セ 患者指導		
6 全部床義歯による治療	ア義歯の設計		
	イの印象採得		
	ウ 作業模型の製作		
	エ 顎間関係の記録		フェイスボウトラン
			スファーを含む
	オー咬合器装着・調節		
	カー人工歯の選択・排列・削合		
	キ 歯肉形成		
	ク 蠟義歯の試適		
	ケ 埋没、重合		
	コ 咬合調整(削合)と仕上げ		
	サー装着		
	シ 患者指導		
7 オーバーデンチャー	ア 基本構造		
	イ 利点と欠点		
8 インプラント義歯によ	ア オッセオインテグレーションの獲		初期固定(一次固
る治療	得		定)、生物学的固定
			(二次固定)を含む
	イ 補綴装置の設計		アバットメントの種
			類、固定方法(スクリ
			ュー固定、セメント
			固定)の選択、インプ
			ラントオーバデンチ
			ャーを含む
	ウ インプラント埋入の治療計画		1回法と2回法の選
			択を含む
	エ インフォームドコンセント		他の補綴歯科治療法
			との違いについての
	. 1. Al (N Ln PR		説明を含む
	才 外科処置		コンピュータ支援手
			術、骨造成等の付随
			手術および2次手術
			の術式を含む

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
	カ プロビジョナルレストレーション		荷重時期の選択を含
			む
	キ 補綴装置の印象採得		クローズドトレー
			法、オープントレー
			法を含む
	ク 顎間関係の記録		
	ケー補綴装置の製作		
	コ 補綴装置の装着		
	サ 合併症		
	シ 患者指導		メインテナンスを含
			む
9 特殊な装置による治療	ア 顎顔面補綴装置による治療		
	イ オクルーザルスプリントによる治		
	療		
	ウ 摂食嚥下補助床による治療		
	エ 構音補助床による治療		
	オ 下顎前方保持装置による治療		睡眠時無呼吸症候群
			の治療
10 管理	ア リコール		
	イ ホームケア、プロフェッショナル		
	ケア		
	ウ 残存組織の変化とその対応		
	エ 咬合の変化とその対応		
	オ 機能低下とその対応		
	カ 補綴装置の破損とその対応		
	キ 義歯の管理		
	ク 栄養指導		

各論VI 高齢者の歯科診療〔約6%〕

●高齢者の歯・歯髄・歯周組織の疾患

	大 項 目		中 項 目	月	、項	目	備	考
1	歯の硬組織疾患	ア	齲蝕の特徴					
		1	非齲蝕性硬組織疾患の特徴					
		ウ	歯の変色・着色の特徴					
		エ	歯の硬組織疾患への対応					
2	歯髄・根尖性歯周組織	ア	歯髄疾患の特徴					
	疾患	1	根尖性歯周組織疾患の特徴					
		ウ	歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療					
3	歯周病	ア	歯周病の特徴					
		1	歯周病への対応					
		ウ	歯周病と全身疾患の関わり					

●高齢者の軟組織に関連する疾患

	大 項 目	中項目	小項目	備考
4	軟組織の損傷	ア 口腔軟組織の損傷		
		イ 顔面軟組織の損傷		
		ウ 損傷に対する治療		
5	軟組織の炎症	ア 口腔軟組織の炎症		
		イ 蜂窩織炎		
		ウ 歯性全身感染症		菌血症、敗血症
6	軟組織に発生する腫瘍	ア 腫瘍類似疾患		義歯性線維腫
	および腫瘍類似疾患	イ 前癌病変、前癌状態		
		ウー良性腫瘍		
		エーロ腔癌		
		才 肉腫		
		カー白血病		
		キ 悪性リンパ腫		
		ク 他臓器からの転移腫瘍		
		ケー腫瘍に対する治療		姑息的治療、ターミ
·				ナルケア
		コ 治療前後の管理		
7	口腔粘膜疾患	ア 口腔カンジダ症		
		イロ腔乾燥症		
		ウ 帯状疱疹		
		エ 口腔扁平苔癬		
		オロ角びらん、口角炎		
		カ 黒毛舌		
		キ 鉄欠乏性貧血		
		ク Hunter舌炎		
		ケー褥瘡性潰瘍		
		コ 口腔粘膜疾患に対する治療		

●高齢者の硬組織に関連する疾患

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備考
8 顎骨の損傷	ア 下顎骨骨折		

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備考
	イ 関節突起骨折		
	ウ 頰骨・頰骨弓骨折		
	エ 骨折に対する治療		
9 顎骨の炎症	ア 顎骨炎		
	イ 顎骨骨膜炎		
	ウ 顎骨骨髄炎		
	工 放射線骨壊死		
	オ 薬剤関連顎骨壊死・壊疽・顎骨骨		
	髄炎		

●高齢者の機能に関連する疾患

	大 項 目	中 項 目	小 項 目	備考
10	神経疾患	ア 舌痛症		
		イ 三叉神経痛		
		ウ 顔面神経麻痺		
		エ 義歯によるオトガイ神経圧迫		
		オ 口腔ジスキネジア		
		力 中枢性神経麻痺		
		キ 味覚異常		
11	唾液腺疾患	アロ腔乾燥症		放射線障害を含む
		イ 良性腫瘍		
		ウの悪性腫瘍		
		エ 腫瘍類似疾患		
		オ 唾液腺疾患の治療		
12	顎関節疾患	ア 顎関節脱臼		
		イ 顎関節症		変形性{顎}関節症
		ウ リウマチ性顎関節炎		
		エ 顎関節疾患の治療		

●高齢者に多い留意すべき全身疾患

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備考
13 管理に留意すべき全身	ア 循環器疾患		高血圧性疾患、脳梗
疾患			塞、虚血性心疾患
	イ 悪性新生物		大腸癌、肺癌、胃癌
	ウ 呼吸器疾患		気管支炎、慢性閉塞
			性肺疾患〈COPD〉、肺
			炎
	工 腎臓疾患		腎不全
	オ 精神・心身医学的疾患		うつ病、認知症
	カ その他の高頻度にみられる全身疾		胃食道逆流症
	患・症状		〈GERD〉、血液透析、
			糖尿病、骨粗鬆症
	キ 要介護の原因疾患		脳血管疾患、認知症、
			Parkinson病、肺炎、
			転倒・骨折、廃用症
			候群

●高齢者の口腔管理と摂食・嚥下機能に関する障害および治療

	即有少口胫首连乙秋及。照下陇肥(C) 第	1	/些 北
大項目	中項目	小 項 目	備考
14 訪問歯科診療	アロ腔管理プランの策定		
	イ 口腔衛生管理のための口腔のケア		
	ウロ腔機能管理のための口腔のケア		
	エ 補綴装置の管理		
15 摂食・嚥下機能	ア 摂食・嚥下機能の加齢変化		
	イ 摂食・嚥下障害の病因・病態		
	ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査		
	エ 摂食・嚥下障害の主な原因		
	オ 摂食・嚥下に関与する諸因子		
16 摂食・嚥下障害	ア 摂食・嚥下障害の評価・検査	a 身体所見	
		b 栄養、食事	
		c スクリーニン	
		グテスト	
		d 検査	
	イ 摂食・嚥下障害の対応	a リハビリテー	
		ションの理念	
		b 間接訓練	
		c 直接訓練、段	
		階的摂食訓練	
		d 食事指導、食	
		事介助	
		e 歯科的アプ	摂食・嚥下機能およ
		ローチ	び音声言語機能改善
			のための補助装置
17 高齢者の栄養管理	ア 栄養状態の評価		
	イ 食内容の管理		
	ウ 食形態の管理		
	工 栄養療法	a 経口栄養	
		1 公地尼公子	
		b 経静脈栄養	
		c 経管栄養	

●高齢者の補綴歯科治療

大 項 目	中項目	小 項 目	備考
18 補綴歯科治療	ア 残存組織の変化とその対応		
	イ 咬合の変化とその対応		
	ウ 機能低下とその対応		
	エ 補綴装置の破損とその対応		
	オ 義歯の管理		